

特別任務行動報告

軍艦伊勢

0923

特別任務行動報告

十一月二十日 月曜日 晴

自十一月二十日
至十二月四日

時刻

午前八時西粟島錨地出港

一〇一五 高松入港 今泉第一潜水戦隊司令官指揮下入ル

十一月二十日 火曜日 晴

正午

温度 一一・〇度
晴雨計 七・二・〇

時刻

高松沖泊(神山710)北三度西五度

十一月二十日 水曜日 晴

正午

温度 一七・〇度
晴雨計 七・六・一

0924

時刻	記事	事
午前八・五九	高松出港	
正午	偏西、風波漸次強クナル	
午後三・四〇	鍋島灯台北五四度東〇、九湊於頭崎、東七鏈	
〃	佐治、令ニ接シ直ニ反轉シテ指定泊地ニ向フ	
〃	高濱沖ニ投錨、錨位頭崎、東〇・七湊	
〃	三津濱防波堤、真末場ニ仮設電信所ヲ設置シ	
〃	八・〇〇	
	御宿泊所ニ電話ヲ連絡ス	
	十一月二十三日 木曜日 晴	
	正午 温度 六三・〇度	
	晴雨計 七六・七	
	記事無シ	
	十一月二十四日 金曜日 晴	
	正午 温度 一一・〇度	
	晴雨計 七七一・六	
時刻	記事	事
午後四・三〇	皇太子殿下御東船總員礼式ヲ奉迎ス	

0925

		軍裝帶勳 同時七記諸官乗船
		牧野宮内大臣 入江侍從長
	五〇〇	奈良東宮武官長 大塚東宮武官
	八五五	陸上電信所ヲ撤去
	九一五	高濱出港
		兩市鐵路沿岸島嶼奉迎諸灯火ヲ斷探照
		灯ヲ照射シ應酬ス

十月二十五日 土曜日 曇後雨

正午 温度 一九〇度
晴雨計 七十六。

時刻	事
午前 六一五九	宇和島入港 碇位馬、浪石南西一四一〇〇米
九一〇〇	白皇太子殿下供奉員帶同以下記事ヲモ同断
	南出船次室士官以上舷側ニ奉送(軍裝帶勳) 以下記事ヲモ同断
	第三水雷艇 並線電信機ヲ裝備 榊崎機橋
	派遣
午後 一三〇	全右撤去

午後	三十三	皇太子殿下御飯船
		船告り郡内村民、和船競漕御覧あり
	五十三	宇和島出港

十一月二十六日 日曜日 雨後晴

正午 温度 一、五度
晴雨計 七、八、六

午前	七、三四	須崎入港 錨位門内山、南六十五度 東一、三度
	八、一〇〇	陸上無線電信所より大坂商船会社代理店階上へ設置 街宿泊所へ電話連絡終了
	八、一二	皇太子殿下御出艦
午後	四、一〇〇	高岡郡主催、特務士官以上歓迎宴 船内あり

十一月二十七日 月曜日 晴

正午 温度 一〇、〇度
晴雨計 七、六、五

午後	四、一五	皇太子殿下御飯船
----	------	----------

0927

四一〇〇 陸上電信局、設立
 五一三二 須崎出張

十一月二十八日 火曜日晴

三十一

温度 一五・〇度

晴雨計 七六・八三

時刻 記

午前 七十一 小和島入港 船位於 第三入度西二五五・米

八二〇〇 陸上仮設電信所、大和通信會社代理店簡上

設置、御宿通信所、電話連絡

九一〇〇 皇太子殿下御出航

午後 一一〇〇 勝浦郡主准准士官以上招待歡迎會あり

十一月二十九日 水曜日晴

正午

温度 一五・五度

晴雨計 七六・六九

時刻 記 事

午後 四一四 皇太子殿下御出航

五一三〇 陸上電信所、撤去

十一月三十日 水曜日 晴

正午 温度 一四・〇度
晴雨計 七六六一

時	刻	記	事
午前	七・一五	皇太子殿下	谷風三浦移乗
	八・五八	小松島	出港
	一一・五七	洲本	入港 錨位 洲本港口 灯台 東北 本二〇〇〇米
午後	五・一〇	皇太子殿下	御飯 総供奉 東弁前
午前	七・二六	洲本	出港
	七・五三	由良	入港 錨位 成山 一九〇・北 西二〇〇〇米
	八・二四	皇太子殿下	御出船
	一〇・一二	皇太子殿下	御飯 船
	一〇・一八	皇太子殿下	朝融王殿下 御煩持 本艦 主官者

十一月一日 金曜日

0929

10129	以上、記念撮影ヲナス
10116	由良出港
10114	加太入港、錨地、崎南七十度、一四三〇〇米
10110	皇太子殿下御退艦、總員礼式ヲ奉送ス(軍裝)
10108	帶勳全部、同時ニ七記諸官退艦ス
10107	牧野宮内大臣、入江侍從長
10106	奈良東宮武官長、大塚東宮武官
10105	加太出港
10104	和歌浦入港、御警衛ニ任ス、錨位、難波江、自軍南八鍵
10103	午後五時迄、羊糞陸上散布ヲ計可ス
10102	陸上仮設無線電信所ヲ設止場附近、住居一室ニ設置ス
10101	皇太子殿下ニ九記通御賜品アリ
	軍艦伊勢
	銀盃 壹個
	酒饌科金五十拾圓
	銀製煙火 壹

0930

	副長	酒饌料金拾五円
	士官室	服地
	伊勢乗組員	酒饌料金拾五円
	軍樂隊	全 金壹千円
	特務員	全 金壹百円
	外士官次室(菓子二折)	全 金參百拾五円
	外士官室(菓子一折)	全 金參百拾五円
時刻	記	事
午前七時	和歌浦正泊	警衛三任々
七時	正午迄	半艇陸上散歩ヲ許可ス
七時三十分	陸上仮設無線電信所ヲ撤去ス	

十二月二日 土曜日 晴

正午

温度 一十五度
晴雨計 七六五八

十二月三日 日曜日 晴

正午

温度 一三〇度
晴雨計 七六〇六

0931

時刻	事
午前 六・三〇	皇太子殿下和歌歌御発車 還洛遊ハサル
八・〇〇	朝融王殿下艦長停車場ニ奉送ス
	特別任務終ル 今皇第一潜水戦隊司令官
	指揮下ニ離レ單獨吳ニ向テ出港ス

三月四日 曜日 曇後雨

正午 温度 一二・〇度
 清雨計 七・六六四

時刻	事
午前 一〇・〇〇	吳ニ帰港ス

0932

自馬松沖至三津濱航路表(十一年十一月二十二日)

時分	差 鍼 諸 元			磁針路	航程	積算航程	記 事
	目 標	方 位	巨 離				
9L	出港						
0m	松島(714)			N70W			
0.1m	N54W 2.5						
	大島(549)	N28W	0.60	S73W	2.2	2.2	原速力十二節
	小島(155)	N27W	0.75	N88W	4.5	7.1	馬松高潮 1h-20mpm
	坂島	N38W	0.35	S55W	2.6	9.7	
	河津崎	N22W	0.80	S81W	1.6	11.3	
	丸井鼻	右正航	0.70	S75W	2.0	13.3	
	高島	N32W	0.45	S69W	3.6	16.9	
	大島(609)	N13W	1.10	S78W	6.5	23.4	
	島(263)	N6W	1.10	S62W	14.5	37.9	馬島海峡 2h 0 mpm 頃迄
	龍神島立標	N6E	1.15	N50W	14.0	51.9	南流
	白石立標	N86W	0.30	N14W	2.3	54.2	海山峽通過 原速力十二節
	馬島(257)	S78E	0.50	N37E	0.8	55.0	
	小島(166)	S30E	0.85	N59W	1.2	56.2	
	松島立標	S6W	1.05	S82W	3.5	59.7	

0933

	標	S41E	1.40	S47W	1.4	61.1
	波島(152)	S32E	1.15	S34W	11.6	72.7
	牛加崎標	N52W	1.00	S60W	3.9	76.6
	釣島灯台	北極	0.90	N54E	3.8	80.4
		N18E	2.10	E	3.8	84.2
4-30P.14	北極				1.6	85.8

三津濱高朝 11h.5m
日没 5h-3m.

0934

自小松島至洲本航路表 (十一月三十日)

時分	要 領 諸 尤			航程	積算航程	記 事	
	目 標	方位	距離				磁針路
8 ^h -58 ^m	出港			E		原速力十二ノ 洲本高潮 4k-0m9.m.	
	沼島(366)	N28E	13.0	NE	7.1		7.1
	成生島東端	N26W	2.5	N17E	16.8		23.9
	成生島北端	W	2.0	N20W	2.5		26.4
11 ^h -57 ^m	洲本	WSW	2.8	WSW	4.5		30.9
11 ^h -57 ^m	入港				1.6		32.5

0935

號外

大正十三年五月十五日

關金剛艦長

小林海軍省軍務局員殿

一軍艦伊勢御出艦任務記録

一冊

但之堂内出軍半依り借用ノ方

右返却ス

(後)

0936

軍務局

第一艦隊 第二四八號

大正十一年十二月二十七日

第一艦隊副長

副長殿

第二部

一軍艦隊勢法召艦仕勢記録

右御参考迄送付ス

(別冊一部係)

老冊

(終)

軍務局受

12.1.6.

0987

軍艦伊勢御召艦任務記録

大正十年十月

0938

目次

- 一、行動作業等ニ関スル記事
- 二、御召艦準備實施要領
- 三、特別任務中來員ニ関スル事項
- 四、儀礼ニ関スル事項
- 五、通信ニ関スル事項
- 六、特別任務ニ関スル請令達
- 七、進備行動ニ関スル往復文書
- 八、寄港地ニ関スル事項

(終)

0939

一
行
動
作
業
等
關
係
記
事

0940

行動作業等之因之記事

十月十日 土曜日

晴

温度 一二〇度

正午

温度 一一〇度

晴雨計 七六九六

時刻

記

事

午前一〇一七 吳出港 掃呂船準備完成 別冊軍艦伊勢海軍艦準備完成 要領(艦)

午後一一三七 安藝難之於自差測定ヲ行フ

一一三七 全了

一一四八 百貫島 掃地 燈台 南東三二五哩

十月十日 日曜日 晴

正午

温度 一一五度
晴雨計 七六六四

時刻

記

事

午前 一一五八 百貫島 燈台出港

午後 一一四五 神戶入港 土番浮標 繫留 第百四號 逐隊 水職 指揮アリ

一一四〇 仮設無線電信所 於利堅波上場見張所設置

十月十日 日曜日 晴

正午

温度 一七・五度
晴雨計 七六・六

時刻

記

事

午前

八・五〇

兵庫縣知事折原巳一郎來訪直ニ退帳

九・五〇

軍令部長山下源太郎來帳(帳内巡視)

正午

滿帳節ヲ行フ

午後

二・三〇

儀仗隊ニ陸士派遣ス

三・五六

樞政官殿下ニ官取發皇礼砲ヲ行フ

四・一一

御召姓系利望波止場發皇礼砲ヲ行フ

四・二〇

御來信皇太子旗ヲ揚ク續テ他長以下衆組佐官
單獨拜謁其他ノ官特務官列立拜謁ヲ賜フ

同時

右記諸官來帳

牧野宮内大臣

奈良東宮武官長

四・五七

滿帳節ヲ撤帳

五・〇四

儀仗隊停止帳

六・〇〇

燈籠節ヲ行フ

0942

九一〇〇	陸上飯設電信行、撤去ス		
九一四五	入江侍従長兼船		
一〇一〇〇	電灯船飾ヲ撤ス		
十一月十四日 火曜日 晴			
	正午 温度一六・〇度 晴雨計七〇・〇		
時刻	事		
午前 七一二五	伊勢第十四駆逐隊ヲ幸テ神宮出港		
午後 〇一五〇	高初八港 船中女水島(△七二二)南三十度西一十二度		
一四三	満船飾ヲ行フ		
一四三	摂政宮殿下御退船 皇太子旗ヲ撤ス		
	同時電記捕官退船		
	牧野宮内大臣 入江侍従長		
	山下軍令部長		
	奈良東宮武官長		
一四五	皇礼砲ヲ行フ		
三〇〇	満船飾ヲ撤ス		

十一月十五日 水曜日 晴后曇

正午 温度 一三・五度
晴雨計 七・六九三

時刻	事
午前 六・三〇	御出陣途船谷風高濱向出港
八・三四	登船礼式行(軍裝帶廻)
八・三四	高初出港
一一・三〇	栗島鉤地入港志々島(△三三三)北一・一渾
午後 五・二〇	御出陣途船谷風入港
五・三九	撰政宮殿下御乗船皇太子旗ヲ揚ク
	同時ニ此諸官衆能
	牧野宮内大臣
	上原参謀總長
	山梨陸軍大臣
	山下軍令部長
	奈良康宮武官長

0944

十月十六日 不曜日 雨止晴

正午

温度 一一・〇度

晴雨計 七六二一

時刻	事記
午前 六・五九	樞政宮殿下詔問講揚陸作業帝巡園之為
八・二〇	御出艦 皇太子旗ヲ撒ス
八・二五	海軍中將百武三郎演習經過言上ノ為、奉伺ス
九・二〇	全右退艦
九・四七	樞政宮殿下御退艦須田衛上陸皇太子旗ヲ撒ス
	同時ニ左記諸官退艦
	牧野宮内大臣
	上原参謀總長
	山梨陸軍大臣
	山下軍令部長
	奈良東宮武官長

十月十七日 全曜日 晴

正午

温度 一二・五度
晴雨計 七六・二一

時刻

記

事

午前 六二六 第十四駆逐隊多度津港外錨地変更

七〇〇 乗員半松陸上散歩許可發平神社参拜セシム

十月十八日 土曜日 晴

正午

温度 一一・五〇度
晴雨計 七七・〇五

記事

十月十九日 日曜日 晴

正午

温度 一四・五度
晴雨計 七六・九

時刻

記

事

午前 六一〇〇 乗員半松陸上散歩許可發平神社参拜セシム

午後 二一〇〇 特務士官以上善通寺町赤山賜饗列ス

0946

十二月二十日 月曜日 晴

正午

温度 九・五度

晴雨計 七六・〇

時刻	記事
午前 八・〇〇	第十四駆逐隊水職指揮下ニ離レ多度津沖
八・〇四	鍋地岩港單獨高松ニ廻航ス
八・一〇	栗島錨地出港
一〇・二五	高松沖入港錨地俵山(七三・〇)北三度西二五哩
	第一潜水戦隊司令官、指揮下ニ入ル

0947

特別任務行動報告

自十月二十日
至十月二十四日

十月二十日 月曜日 晴

正午 温度 一〇・〇
晴雨計 七六・八〇

時刻

午前八・〇四 粟島錨地出港

一〇・一二五 高松入港 今泉第一潜水戦隊司令官指揮下入ル

十一月二十一日 火曜日 晴

正午 温度 一一・〇度
晴雨計 七二・二〇

時刻

高松沖泊(標山710)北三度西二五湮

十一月二十日 水曜日 晴

正午 温度 一七・〇度
晴雨計 七六・六一

時刻	記事	事
午前 八・五九	高松出港	
正午	偏西、風波漸次強シナル	
午後 三・四〇	鍋島灯台北五四度東、九哩於テ頭崎、東七鍊ニ	
	仮泊、今ニ接シ直ニ及轉シテ指定泊地ニ向フ	
	高濱沖ニ投錨 錨位頭崎、東〇七哩	
	三津濱防波堤内奥市場ニ仮設電信所ヲ設置シ	
	八・〇〇	
	御宿泊所ト電話ヲ連絡ス	

十一月二十三日 水曜日 晴

正午 温度 一三・〇度
晴雨計 七六・七

記事無シ

十一月二十四日 金曜日 晴

正午 温度 一一・〇度
晴雨計 七七・六

時刻	記事	事
午後 四・二〇	皇太子殿下御乗船總員礼式ヲ奉迎ス	

	(軍裝帶勅) 同時記諸官衆船
	牧野宮内大臣 入江侍從長
	奈良東宮武官長 大塚東宮武官
5100	陸上電信所ヲ撤去ス
8155	高濱出港
9155	雨止繼路沿岸島嶼ヲ奉迎清灯火ヲ對テ探照 灯ヲ照射シ應酬ス

十一月二十五日 土曜日 曇後雨

正午 温度 一九・〇度
晴雨計 七・七六〇

時刻	事記
午前 六1五九	宇和島入港 錨位馬、浮石西、西一〇〇米
9100	皇太子殿下(供奉員帶甲)以下記事ナキ(同前)
	漸出帆次 皇土官以上舷側 奉送(軍裝帶勅) (以下記事ナキ)
	第二水雷艇 無線電信機ヲ裝備シ 樺崎棧橋
	派遣ス
午後 1130	今右撤去ス

午後	三十一	皇太子殿下御飯
		船上三少尉の料理、和船競漕南見あり
	五十二	宇和島出港

十一月二十六日 日曜日 雨後晴

正午 温度 一〇・五度
晴雨計 七五六・六

午前	七十三	須崎入港 錨位内山、南六十五度 東一・二度
	八十一	陸上仮設電電信所、大坂商船会社代理店階上
	八十二	設置荷箱泊所、電話連絡
午後	四一〇	皇太子殿下御出艦
		招待
		高岡郡正催、特務士官以上歓迎宴招待あり

十一月二十七日 月曜日 晴

正午 温度 一〇・〇度
晴雨計 七六六・五

午後	四一五	皇太子殿下御飯
----	-----	---------

時刻 記 事

四一〇〇 陸上電信局・機舎
 五一二二 須崎出港
 十一月二十八日 火曜日 晴

正午 温度 一五・五度
 晴雨計 七六・八三

時刻 記 事

午前 七一二一 小松島入港 船位於港頭・南三十八度西一五五〇米

八一〇〇 陸上仮設電信所・大坂商船會社代理店 備上

設置の御宿泊所・電話連絡

九一〇〇 皇太子殿下御出航

午後 一一〇〇 勝浦邸主 催進士官以上 招待歡迎會

十一月二十九日 水曜日 晴

正午 温度 一五・五度
 晴雨計 七六・六九

時刻 記 事

午後 西一二四 皇太子殿下御出航

五一二〇 陸上電信所・機舎

十一月二十日 水曜日 晴

三年 温度 一四・〇度
晴雨計 七六六一

時刻	記事	事
午前 七十一五	皇太子殿下 谷風三海 移乘	
八十五八	小松島 出港	
一一一五七	洲本入港 锚位 洲本港口 灯台 東北 承 二〇〇〇米	
午後 五十一〇	皇太子殿下 御飯 船休 奉員 公前	
午前 七一二六	洲本 出港	
一一一五三	由良入港 锚位 成山 二九〇、北 夕西 二〇〇〇米	
八十一四	皇太子殿下 御出船	
一〇一一三	皇太子殿下 御飯 船	
一〇一一八	皇太子殿下 朝融 玉殿下 帝 順 康 本 艦 主 管 者	

十一月一日 金曜日

0953

		以上、記念撮影あり
		一〇二九 由良出港
		一一一六 加太入港 鋪位城崎、南七十度一四二〇米
		一一四〇 皇太子殿下御退艦 總員礼式ヲ奉送ス、軍裝
		帶勳全部、同時ニ右記諸官退艦ス
		牧野宮内大臣 入江侍從長
		奈良東宮武官長 大塚東宮武官
	午後 〇一六	加太出港
	一一二六	和歌浦入港 御警衛ニ任ル 鋪位難波江自鼻南八鍵
	一一三〇	午後五時迄 半船陸上散步ヲ許可ス
	一一四〇	陸上仮設無線電信所ヲ波止場附近住宅一室ニ設置ス
		皇太子殿下ヨリ左記ノ通御賜品アリ
		記
軍艦 伊勢	銀盃 壹個	
艦長	酒饌料金五拾円	
	銀製煙入 壹	

0954

	副長	酒饌料金貳拾五円
	士官室	服地
	伊勢衆組員	酒饌料金拾五円
	軍樂隊	全 金壹千円
	特務員	全 金壹百円
	外士官次室、菓子二折、准士官室、菓子一折	全 金参百五拾円
時刻	記	事
午前七時	和歌浦正泊御警衛ニ任ス	
七時三十分	正午迄半艇陸上最歩ヲ許可ス	
	陸上仮設無線電信所ヲ撤去ス	

十二月二日 土曜日 晴

正午 温度 一一・五度
晴雨計 七六・五八

十二月三日 日曜日 晴

正午 温度 一一・〇度
晴雨計 七六・〇六

0955

時刻	記	事
午前 六・三〇	皇太子殿下和歌山縣御発車	還啓遊ハサル
八・〇〇	朝融王殿下艦長停車場ニ奉送ス	
	特別任務終ル	今泉第一潜水戦隊司令官
	指揮下ヲ離テ單獨	呉ニ向テ出港ス
十二月四日 月曜日 曇後雨		
	正午	温度 一二・〇度
		清雨計 七・六六四
午前 一〇・〇〇	呉ニ帰港ス	

0956

自吳港至白鬚島後泊地航路表(十一年十一月十一日)

時分	普	標	方	程	航	程	積算航程	航程	記	事
1-0 ^{0.71}	吳(1023)				No Reg					原速力十二節
	小麗女島信号村	E	0.35'		N37W	1.3'	1.3'			吳高潮 1/2 5.5 ^m P.M.
	鳥帽子山(1340)	航正横	1.35'		N27W	2.2'	3.5'			
	屋形石立標	S38W	0.55'		S70W	2.0'	5.5'			
	似島(△251)	N39W	0.65'		N80W	1.9'	7.4'			
	似島(△657)	N2W	0.55'		S68W	0.9'	8.3'			
	小黑神島(△425)	S52E	1.25'		S5W	5.4'	13.7'			
	白石立標	N84E	0.65'		S28E	4.4'	18.1'			
	西五番立標	航正横	0.70'		S43E	8.4'	26.5'			
	横島(290)	N50E	1.10'		S80E	2.7'	29.2'			舟藝難ニテ自差測定ヲ行フ
	大鶴場島(355)	N25W	0.70'		N56E	6.2'	35.4'			正午 5.0 ^m P.M. 迄 赤島海峡北口
	齋島(327)	S30E	1.20'		N82E	1.4'	46.8'			速ニルマツ 速力ヲ調節ス
	船磯立標	S5W	1.05'		S57E	7.1'	54.7'			
	コノ瀬立標	S53W	0.84'		S9E	3.5'	58.2'			赤島海峡 3.5 3.0 ^m P.M. 頃ニテ
	馬崎又ノ崎	S81W	0.33'		N67W	0.8'	59.0'			南流
						0.6'	59.6'			

0957

	島島(三ノ)	S85W	1.28'	S30E			
	龍神島立標	N16E	1.20'	N75E	2.1'	6.17'	
	合上	N46W	"	N55E	1.2'	6.27'	
S-4 ^{PM}	目島燈台(17) 高井神島燈台(43)				1.7.5'	6.0.4'	日没 5 ^{PM} 8 ^{PM} 潮退 高潮 3 ^{PM} 20 ^{PM}

0958

自百葉島後泊地至神中航路表(十一年十一月十一日)

時分	要領	方位	距離	磁針路	航程	積算航程	記
6-4 ^{PM}	島			E			
	六島(109)	N19E	1.80'	N69E	9.8'	9.8'	原速力十二節 日没 6 ^{PM} 36 ^{PM} 潮退 高潮 3 ^{PM} 6 ^{PM}
	高尾島板持鼻	方位正横	0.40'	N74E	6.8'	16.6'	
	波節岩立標	"	0.21'	N88E	2.8'	19.4'	
	本島カテラ崎	N33W	0.80'	N47E	2.8'	22.2'	
	牛島(359)	S5W	0.45'	N60E	0.8'	23.0'	
	本島尾山鼻	N22W	0.75'	S83E	0.9'	23.9'	
					2.1'	26.0'	

	小興島(155)	(100)	0.65	17+E	4.9'	30.9'
	大槌島(540)	(100)	0.70	182E	4.4'	35.3'
	柏島(343)	(115)	1.13	186E	3.5'	37.7'
	男木島燈台	3E	0.65	175E	3.6'	41.6'
	大野島(653)	S36E	0.7	S11E	5.3'	46.7'
	地藏崎(970)	173E	1.40	S77E	0.7'	52.1'
	北子島(526)	1N	2.20	173E	35.0'	87.1'
	三崎燈台	N11E	1.00	S70E	3.2'	90.8'
	平磯立標	123E	0.80	E	6.4'	97.2'
	和用岬燈台	1N	1.95	As. Reg.	3.0'	100.2'
2-40	岬(165-118y)					

明石瀬戸 10^h 20^m 瀬戸
天竺山

神戸高潮 2L 0^m pm

日没 4^h 5^m

0959

自神戸至高松航路表 (十一年十一月十四日)

時分	標	方位	距離	磁針路	航程	積算航程	記
7-30 (出港)	示 (11.5)			40 R 7	4.0'	4.0'	最速力 12 節 神戸高潮 2 = 20.00 a.m.
	和向岬燈台	N	1.95'	W	7.0'	11.0'	
	平磯燈台	N 51 E	1.30'	N 70 W	3.3'	13.3'	昭海 1 = 45.00 a.m. 昭海
	江崎燈台	N 71 E	1.10'	S 75 W	34.7'	46.0'	
	尾子島 (32.6)	N	2.20'	N 67 W	5.5'	53.5'	
	地藏崎 (97.2)	N 2 E	1.40'	N 66 W	1.55'	55.0'	
	合上	N 61 E	1.10'	N 65 W	4.3'	59.3'	
	小嶋島 (11.8)	N 17 W	0.35'	S 58 W	10.5'	69.8'	
	番浦 (12.7)	S 34 E	0.45'	S 71 W	3.5'	73.3'	
	方木島 (9.12)	N 37 W	0.75'	S 75 W	7.0'	80.3'	高松高潮 7 = 30.00 p.m.
1-0	示 (5.0)						

0960

自高松港至粟島錨地航路表(十一年十一月十五日)

時分	航路			航程	積算航程	記
	標	方位	距離			
8-0出港	錨(木島(712)) (S30°W 1.0)			N3E	0.9'	0.9'
	仮設浮標	S3W	0.40'	N40W	0.8'	1.7'
	木島(667)	N54E	2.60'	N83W	1.7'	3.4'
	櫛山(710)	S18W	2.05'	N60W	2.5'	5.9'
	小槌島(348)	S47W	1.40'	S93W	5.3'	11.2'
	小興島(155)	N29W	0.95'	N88W	3.6'	13.8'
	鹿山鼻	N33E	0.80'	S55W	1.6'	15.4'
	カマヤ崎	N55E		S81W	2.0'	17.4'
	廣島井鼻	方位不明	0.70'	S75W	3.6'	21.0'
	高見島(883)	S31E	1.15'	S69W	3.0'	24.0'
	下二面島(75)	N59E	1.65'	S	0.9'	24.9'
		N66E	1.00'	S72E	3.6'	28.5'
10-35入港	錨(木島(833)) (N12°)					

原速力十二節
 日出 6:35 AM
 高松高潮 7:55 AM
 仮設浮標位置
 木島(△712) N81W 0.50'
 粟島錨地高潮 8:35 AM
 仮設 S 1.0 PM 7:1

1960

白栗島至高松沖航路表 (十一年十一月十九日)

時分	航路諸元		磁針路	航程	積算航程	記
	標	方位				
8 ^h 0 ^m	白栗島(311)		N 82 W	3.5'	3.5'	原速力+二部 栗島高潮 1/1 ^h 25 ^m a.m.
	下二面島(95)	N 70 E	N	1.0'	4.5'	
		S 53 E	N 69 E	3.2'	7.7'	
	高見島 校持島	S 87 W	N 75 E	2.6'	10.3'	
	波節岩之標	布正横	N 80 E	2.7'	13.0'	
	本島 三ツ子岬	N 27 W	N 52 E	1.5'	14.5'	
	本島 西ノ子岬	N 25 W	S 88 E	2.6'	17.1'	
	小興島(155)	N 23 W	N 73 E	5.0'	22.1'	
	大根島(142)	N 28 W	S 70 E	2.0'	24.1'	
	高松島(170)					
10 ^h 30 ^m 入港	高松島(170)					

0962

自鹿島沖至三津濱航路表(十一年十一月二十二日)

時分	差 鏡 諸 元			航路	航程	積算航程	記 事
	目 標	方位	巨 離				
9h-0m	出陣						
0.1m	鹿島(710)			N70W	2.2	2.2	原速力十二節 高松高潮1h-20mpm.
	大槌島(540)	N28W	0.60	S73W	6.9	7.1	
	小島(155)	N27W	0.95	N88W	7.6	9.7	
	本島	N38W	0.35	S55W	11.6	11.3	
	水島	N22W	0.80	S81W	2.0	13.3	
	仙島	西正横	0.70	S75W	3.6	16.9	
	高見島	N32W	0.45	S69W	6.5	23.4	
	大島(609)	N13W	1.10	S78W	14.5	37.9	
	赤島(263)	N6W	1.10	S62W	14.0	51.9	
	龍神島立標	N6E	1.15	N50W	2.3	54.2	
	白石立標	N86W	0.30	N14W	0.8	55.0	東島海峡2h0m6m頃迄 南流 海山峽通過時原速力十二節
	馬島(257)	S78E	0.50	N37E	1.2	56.2	
	小島(160)	S30E	0.85	N57W	2.5	59.7	
	磯島立標	S6W	1.05	S82W			

0963

	格波立標	S45E	1.40	S60W	1.4	61.1
	波島(153)	S32E	1.15	S34W	11.5	72.7
	牛加崎立標	N52W	1.00	S60W	3.9	76.6
	釣島灯台	北正横	0.90	N54E	3.8	80.4
	,	N18E	2.10	E	3.8	84.2
4-309.10 入港	牛(頭崎)立標				1.6	85.8

三津濱高潮 11h.5m.6.m.
日没 5h.-3.m.

0964

自小松島至洲本航路表 (十一年十一月三十日)

時分	變 鍼 諸 尤				航程	積算航程	記 事
	目 標	方 位	距 離	磁針路			
8 ^h -58 ^m 2 ^m	出港 寺			E			原速力十二節 洲本高潮 4h-0m9.m.
	沼島(366)	N28E	13.0	N E	7.1	7.1	
	成島東端	N26W	2.5	N17E	16.8	23.9	
	成島北端	W	2.0	N20W	2.5	26.4	
11-59 ^m 2 ^m	洲本 寺	WSW	2.8	WSW	4.5	30.9	
11-59 ^m 2 ^m	洲本 寺				1.6	32.5	

0965

二
御召艦準備實施要領
一

0966

御百艦準備要領

要旨

十一月舉行陸軍特別大演習及皇太子殿下
海道行啓際殿下御百艦任教カ服スル為其扶助意向ヲ
體シ又前例生以下各舞準備實施ス(別表第一御日程參照)

二 設備
本任務為特設備ヲ要スル者左ノ如シ

(一) 右舷々梯ニ新調セル踏台列レケング及ノロープヲ用ヒハ
トレハ晒水綿ニ卷キ清淨ナル番兵塔覆福幕及艇梯下
覆ヲ用フ

(二) 後甲板ニ總天幕及裾幕ヲ張リ椅子機海圖箱觀測鏡ヲ
準備シ夜間ハ十燭三仙裝備常夜燈四個ヲ台ス
天幕支柱ニ總テ銀塗具ヲ塗布ス

(三) 前部探照燈甲板前面ニ風除ケ兼ニ塵除トシテ硝子ヲ特設シ甲
板ニ軌道同一面ニ上様新製列レケングヲ敷ク同甲板用天幕
ヲ新製衣ニ側幕ト共ニ常時展張シ置クモノトス又同所ニ備海
圖箱ヲ備ヘ航海中行動海面水路圖誌及航海用諸器具ヲ

中央 輜輪羅針儀 西航 觀測鏡 各一ツヲ用意ス
一當道 測距手ニ傳令一信號兵一ヲ配置ス

本号 探照燈 甲板 設備 工廠 都合ニテ 實施セヨトシテ 要スル時 前
艦橋 準備スル

(四) 上将 右舷 側ヨリ 前部 探照燈 甲板 直ニ 各 梯子 ノ 手摺 晒 木 綿 一ツ 巻キ 下
將官 昇降 階口 入口 踏台 ヲ 宣ハ 塵埃 除ノ 幕 布 張リ 夜間 八天 井ニ 十六
燭 一ツヲ 点ス

(五) スツシ ヲ ト 止 支柱 及 天幕 柱 ヲ 凡テ 銀 塗 具ニ 塗リ 清 淨ニ 天幕ヲ
張リ 階口 階口 ヲ 所々 固 縛ス

(六) 御座所 (將官室) 机 一 固有 (モ) 備品 甲ノ 机 掛 ヲ 用テ 椅子ハ 特
別 貸與 (モ) ノ 脚 同 安樂 椅子 一 脚 (ツラシメ 付) ヲ 備ヘ 電氣 暖
爐 ヲ 準備ス 暖簾ハ 特別 貸與 (モ) ト 取替ヘ 盒 裁 盆 花 各 一 鉢
外別ニ 粧 飾 品 ヲ ナス

(七) 御次 (將官公室) 机 大小 各二 固有 (モ) ニ 備品 甲ノ 机 掛 ヲ 用ヒ 椅
子ハ 兩側ニ 各一 脚ヲ 本 艦 固有 (モ) ヲ 用 意ス (正座ニ 特別ノ 椅子ヲ 準備
ス 暖簾ハ 特別 貸與 品ト 替ヘ 花瓶 又ハ 盒 裁 五 鉢ヲ 飾リ 入口ニ 特別 貸
與 靴 拭キ ヲ 置ク

(八) 御寢所 (將官寢室) 机 一 固有 (モ) ニ 特別 貸與 机 掛 ヲ 用ヒ



(九)

特別貸與椅子一脚同安樂椅子(各一件)一脚備(各一件)暖簾、特別貸與品替、御水合、特別貸與、靴拭置、御浴室(将官浴室及厠)新調踏台置、白色、張、敷板二枚備、防臭割、入、尚、厠、御浴室、隔壁、摺硝子扉取付手拭掛、新調、御用水、勿論、真水、ヨト同室、舷窓、鏡、盃、引、コト、如、改、修、スル、コト

(八)

親勅任官公室(参謀長公室)机(固有)備品甲机掛、用、椅子五脚安樂椅子二脚(各一件)備、暖簾、特別貸與品、用、盛花又、盆裁、鉢、飾、入口、特別、與、靴、拭、置

(七)

参任官公室(幕僚事務室)机(固有)備品乙机掛、用、椅子六脚安樂椅子一脚(各一件)備、暖簾、額表、特別貸與品、靴拭置、机掛、暖簾、判任官公室(機関官事務室)机(固有)机掛、暖簾、定額表、用、椅子八脚備

(六)

判任官事務室(司令部庶務室)固有備品

(五)

0969

- (四) 雑仕小者詰所兼寢所(後部戦時治療室)柔道畳ヲ敷キ帆布被ヒク一隅ニ兵員食卓ヲ備フ出入口ハ信号旗ヲ張リ成ルヘク附近ニ兵員ノ立寄ラセバ様掲示ス
- (五) 判任官以上寢室寢具一式ヲ準備シ様子又ハ踏台ヲ備ヘ高等官以上ハ手拭ヲリツバト煙草盒ヲ用意ス親勅任官ニ適宜植木鉢鉢ヲ固有ノ丸卓子ヲ置キ机掛及暖簾ハ定額表甲ヲ用フ
- (六) 供進所 将官食器室ノ配食台上ニ新製木板ヲ張ル
- (七) 御服所内舍人詰所(参謀事務室)固有机ニ定額表乙ノ机掛ヲ用フ
- (八) 参任官以上食器室(艦長食器室)固有ノ俵ニテ同食器室附近ニ白布ヲ以テ圍ヒ充(兵員卓備)掛兵員詰所ヲ設ク判任官食器室 中甲板十四已ニ白金布ヲ圍ヒ特設ス(兵員卓備)
- (九) 御藥室(第七分隊長室)待医室ノ隣ニテ暑クナキ室ヲ撰定ス
- (十) 御調理所 厨司休憩所(将官賄所及同所前道路)圍

天井の板屋根ヲ張リ明ヲ取リ硝子ニ洞ヲ入ル其ノ下ニ鉄ヲ白金
 巾ヲ張リ諸ノ(室内抽出共)新調ノ調理台野菜柵ヲ備ヘ
 (別圖参照)同甲板ニ電機板要具格納所ヲ共ニ御用ニ候ス
 (1)御用料理場用ノ水毎日氷約十五貫目位飲料水約二斗位
 ヲ供給スルコト又燃料トシテ上等堅炭ヲ準備シ置クニ
 (2)御用飲料及御用浴噴水ニ蒸溜水ヲ使用スルハ蒸溜水缶
 ヲ新準備スルコト
 (3)供奉調理所 士官賄所ヲ其係共通使用ス
 (4)時鈴(別圖参照)
 (1)御座新御寢室 御浴室ヲ養任官公室ニシテ電氣
 呼ビナル所ヲ示ス)通ル如ク電鈴ニ侍從(短一)東宮武
 官(短二)侍醫(短三)ノコトヲ附シ置クコト又御次ヨリ
 供進所へ通ル如クスルコト
 (2)親勅任官公室及寢室ヲ養任官以テ食器室へ通ルコト
 (3)養任官公室及寢室ヲ養任官食器室へ又養任官公室
 ヨリ判任官公室及供進所へ通ルコト
 (4)判任官公室ヨリ判食器室へ通ルコト

- (四) 中甲板十六区及十七区入口ニ執炬ヲ置キ白金巾ノ幕ヲ垂ル十六区ヨリ後部ノ電燈ハ全部三十二燭燈トス
- (五) 各公室入口ニ「エナメルメッキ」ノ鉢ヲ備ヘ白料赤水ヲ入レ消毒用ヲ洗
- (六) 以上外板ノ色名有リ詳シク 電氣暖房器參仰(御座所)御寢室(公室)各十個先ヲ備
- (七) 御座所(心)ニ「ト」燈中央參仰ヲ五十燭電球トス(他十六燭燈)
- (八) 公室(心)ニ「ト」燈中央列六個ヲ五十燭電球トス(左)
- (九) 御寢室(心)ニ「ト」燈中央式個ヲ五十燭電球トス(左)
- (十) 中甲板ノ木造以後ノ甲板電燈ハ三十燭電球トス
- (十一) 中央甲板六区「ト」燈全部三十二燭電球トス(他十六燭燈)
- (十二) 後甲板ノ燭電球參仰ハ四個裝備ス
- (十三) 後甲板積側「ト」燈四個ニ「ト」燈ニ每板飾電燭(ト)ヲ裝備ス
- (十四) 時官「ト」燈入口天井ニ十六燭電球(特別製)ニ十個ヲ裝備ス
- (十五) 艦飾電燈用皇太子旗ヲ裝備ス要領別圖ノ如シ

0972

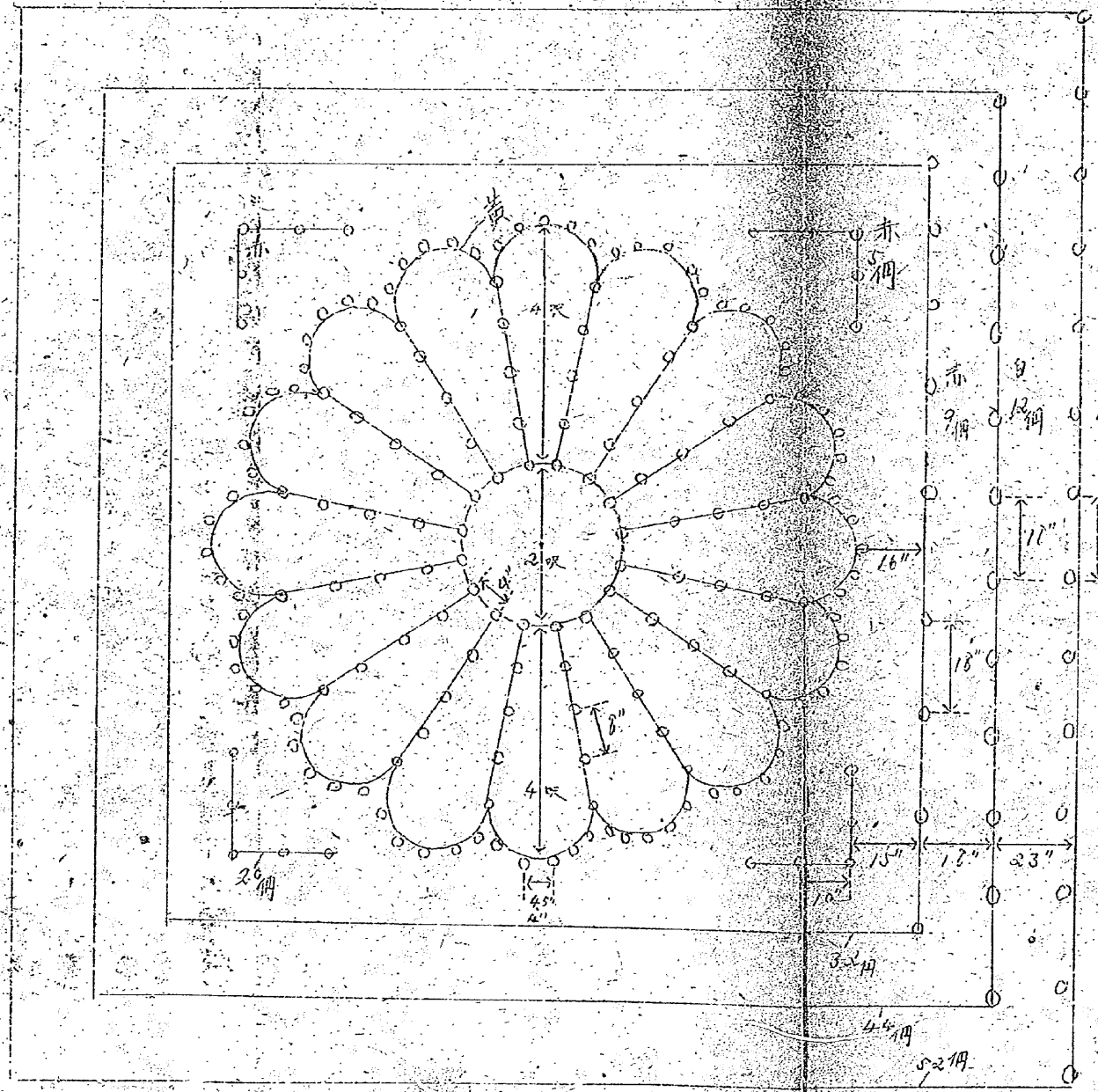
大正十一年十月十三日皇太子旗幟形圖

備考

赤燈ニ紅金巾ノ袋ヲ覆フ
 黄燈ニ炭素電球ヲ使用ス

赤燈球 百〇個
 白燈球 四十四個
 黄燈球 百六十八個
 合計 三百〇八個

旗ノ長廿二呎
 菊全長 十呎
 左心全長 二呎



三上事

御召艦準備トシテ吳海軍工廠請求ニ實施スル事項左如シ

15	便器用踏台設備	一個	30	金横幕設備	一枚
14	全紙入籠	一個	27	舷梯用ハコ	二組
13	廁用腰掛板取替	二枚	28	左手摺及金物造替	西藥
12	浴槽上廁ノ隔壁摺硝子交麻造替	五所	27	右舷々梯造替(修理共)	一個
11	浴室用腰掛ノ設備	一個	26	後甲板五ノ天幕造替	三枚
10	浴槽用踏台ノ設備	一個	25	カサノカサノ天幕取替	全部
9	浴室用ハコノ造替	二枚	24	昇降口覆ノ取替	一枚
8	寢台用梯子若ハ踏台ノ設備	六個	23	梯子用ハコノ設備	一組
7	寢台用金具鍍金	五分	22	昇降口ニ踏台ノ設備	一個
6	舷窓塵除金網張替	全部	21	長官昇降口及梯子塗替	全部
5	天窓硝子入替	二所	20	長官食器室及配食柵設備	一所
4	甲板カサノ張替	不限	19	手拭掛及帽子掛造替	二個
3	舷窓ノミ及天窓ノミ入替	全部	18	洗面器鍍金	一個
2	全所机ノ布ヲ羅紗ニ張替	二個	17	浴室内金具鍍金	全部
1	長官公室寢室内金具鍍金	全部	16	便器分解手入及ハコ取替	一所

0974

備考

38	長官休館所並塗方	全部		一組
37	後甲板前艦橋邊椅子並鉛鍍金(桶)	全部	45	一組
36	前部探照燈艦橋御座所設備 <small>経費、都合見合也</small>	一所	44	一個
35	全野菜類格納柵設備	一所	43	十五個
34	烹炊室洗台及流水設備	一所	42	全部
33	烹炊室附近配膳所設備	一所	41	全部
32	長官烹炊室周圍金巾覆張	全部	40	全部
31	番兵塔台(14ヶ所)造替(修理止)並	四枚	39	全部

船医科

本艦船医科其他製造作

- (イ) テラキヒリヤード八人分一組
- (ロ) 右寢室踏台六個 絞盤六板(後甲板)一
- (ハ) 花籠台四個
- (ニ) 廁所レール五
- (ホ) 御召艇旗竿其他判任官食器室供奉桌新

0975

四特ニ購買又ハ貸典ヲ受クヘキモノ

(1) 購買ヲ要スヘキモノ

洗面鉢	三何	張替用厠腰掛枚用ノフランネル	三米突
食器洗桶	一斗桶位 三何	意炊室及配膳所附近用金布巾迄張替迄	八十米突
御手洗用桶小	一何	※其他調理ニ要ス諸道具等	一切
判任官以下用麻呂	三十足		

※八前年印吹ノ例ニ倣ヒ講入叙レハ可ナラン但儀張替ノ配件依ル

(2) 貸典ヲ受クヘキモノ

○ 横需品庫ヨリ貸典ヲ受クヘキモノ

皇太子旗	絹地六巾	一	
全	旗地六巾	二	
全	絹地二巾	一	
全	旗地二巾	二	
机掛	緞子	六枚	(本體ノモノ宜シキモノ本體ノモノヲ用ユ)
暖簾	甲	一ニ枚	
羊暖簾	甲	六枚	

特種洋食器	合覆	椅子	手燭	マワ	喫煙具	花瓶	上靴	手拭	全覆	安樂椅子	クワレヨシ	寢台掛	枕	毛	窓掛
三組	六枚	三脚	二個	一二枚	三個	五個	二三個	四六枚	四枚	二脚	一枚	二枚	二枚	九枚	三九枚
								洗替共						判任官以上、合内殿下用御持参モノ	

0977

洋食器

百人前 吳或ハ横須賀ニ準備

○ 吳工廠ヨリ貸與ヲ受ケルモノ

畳

三〇枚

攝津御百艦當時作製モノ

後甲板及前部探照燈甲板備フヘキ觀測鏡

三四

○ 吳需品庫及衣糧科ヨリ貸與ヲ受ケルモノ

毛布

二〇〇枚

寢多用蒲團三枚 日覆甲三枚 新調ス

五部屋割 (別圖第四第五第六第七第八第九別表第三第三参照)

部屋割ハ豫メ東宮武官ヨリノ内協議基キ出来得ル丈テ供奉

諸官便利ニ様同一区割内ニ定メタルモノニテ下換令ノ官中諸

官上テ打合セテ上決定ニタルモノナリ

六衛生

(一) 七月上旬迄 乗員健康診断及コレラ赤痢并カクモ菌に對

シテ總点檢便施行

(二) 各甲板及供奉室諸室消毒及乗員寢具日光消毒

(三) 休暇人員傳染病之寄禁止区域ニテハ嚴禁ニ方一虎列刺ハ正

發生地ニ寄リケルモノニテ時ハ五日間隔離ニ且虎列刺菌ニ對シ

換便ヲ行フ事

(四) 十月一日ヨリ事情止ムヲ得ル者外成可ク外人乗艦ヲ禁ス

又艦門ヨリ石炭酸ヲ浸セル靴拭ヒテ常ニ備フ

(五) 蠅 駆除ノ勵行

(六) 十月中旬ヨリ吳淞ノ際不良者ハ海軍病院ニ入院セシム

(七) 若室等御用清水缶全部ヲ掃除シテ消毒ス

(八) 消毒係ニ名 増員五名トス

(九) 御座所、御寢室、御浴室、消毒

金屬製品ハ酒精清拭其他ハ〇・一%昇永落液ヲ清拭消毒

甲板ハ〇・一%昇永落液ヲ前後三回清拭消毒

(十) 御料用水上ニテ一日約ニ斗ノ蒸溜水ヲ準備供給セリ

備考 蒸溜水ハ本艦治療所備件ノ蒸溜器ヲ製造セシメ

(十一) 中甲板部ニ於テ各兩舷側ニ〇・一%昇永落液鉢ニ個ヲ備件手指

消毒ニ供セリ

(十二) 左舷各門ニ消毒用トシテ〇・一%昇永落液鉢ニ個及消毒用脚筒

一個ヲ備件トシテ〇・一%昇永落液鉢ハ〇・一%石炭酸水ヲ撒布謀閣セシメ

外表者ハ手指及履物ノ消毒ヲ嚴重ノ勵行セリ

(註) 一般外來者對シテハ居所ヲ詳細ニ取調ベ傳染病流行地若シテ其附近ヲ通行シタルモノハ事情出テ得ル者外一切艦内ニ立入リ嚴禁セリ

七 艦内各部於ル準備作業

- (一) 外舷及檣桁塗方
- (二) 短艇塗方
- (三) 内舷繕塗土及石鹼拭
- (四) 艦内各部大掃除整頓
- (五) 甲板上甲板石油拭
- (六) 御用艦橋(前部探照燈甲板)掃除整頓(見合)
- (七) 御召艇整備
- (八) 軍樂器室準備
- (九) 帆布具釣床洗濯
- (十) 各甲板供奉員諸室消毒
- (十一) 乘員寢具日光消毒
- (十二) 電燈艦飾準備

三 供奉員及來賓糧食搭載

八 特別配置

(一) 進士官以上特別配置左ノ如ク

一 般	御艦御用品準備係	御室及供奉堂整備係	接 伴 係	警 衛 係	御 召 艇 係
福原中佐	鈴本特務中尉 中野特務中尉 藤本特務中尉 下谷船匠特務少尉 石田主計少尉 曾根主計少尉 高馬少尉 下右船匠特務少尉	入江少尉 曾根主計少尉 野野主計少尉 清野共曹長 熊野共曹長	大橋大尉 石原少尉	林 中 佐 山崎兵曹長	
各主管者上連絡ヲ執リ御召艦トシテ特 必要ナル諸物品ノ整備ヲ為スコト	室内ノ整備備件物品ノ完備ヲナス	供奉員ノ食事其他待遇幹旋關々 ルヲトコナス	御召艦任務中特ニ必要ナル艦内警衛 任務ヲ任ズルコト	御用時林中佐ニ指揮ヲ準備入少尉 兵曹長ニ任ズルコト 松岡特務少尉ニ依閣様監督トス	

	伊藤 廣持 尉	御用艦橋掃除整備等御用準備等
御用艦橋及後甲板係	柳 本 中 尉 朝融 王 殿 下 上田 特務 少 尉	御用艦橋、後甲板及雜門附近掃除 整備等、開ルコト 御運動、設備、開ルコト 練習設備等殿
記録報告係	中 村 大 尉 長 屋 少 尉 三 神 少 尉 高 馬 少 尉 齋藤 主計 少 尉	任務報告及一般記録、開ルコト
御荷物御用係	熊野 兵曹 長	

(三) 特別任務中臨時受持左ノ通ニ定ム
前部探照燈艦橋及件屬御用品 第二十一分隊

(三) 特別設置スルハ從兵及助手ヲ左ノ通ニシス
将官室掛、從兵トシテ、經驗少キモ豫テ將官室、掃除手入
任セラルルヲ以テ之ニ若干ノ補充ヲナシテ特別從兵トス

掛	別	識別員	数	記
親任官室掛	黄	下士官 兵	一 五	親任官一名 勅任官四名 從兵 勤務ス
奏任官室掛	赤黄	下士官 兵	一 一〇	奏任官八名 從兵 勤務ス
判任官室掛	赤	下士官 兵	一 五	判任官十名 從兵 勤務ス
内舎人室	黄中白	兵	二	内舎人助手 勤務ス <small>(特選良士)</small>
主膳掛	赤中白	兵 内計兵	三 四	主膳掛 勤務ス 内ニ有テ 將官食 器室他 ニ有テ 御調理所 ニ有テ 勤務ス
雜任小者掛	青中白	兵	四	雜任小者 手傳 食卓其他 萬事 取扱ス
後甲板掛	青	下士官 兵	二 八	後甲板掛 士官 命ヲ受テ 服務ス
植木掛	赤青	兵	二	植木手 八人 素養 花ニテ 撰ス
御荷物御用掛	白	下士官 兵	三 三〇	御荷物 運搬 整理 任ス
備考				識別ハ 旗布 ヲ以テ 作リ 龍脈 纏ラ 尚同 識別 ハ掛 別ヲ 記シ 白布 ヲ附 着シ 置キ モト トス

0983

日/月/分	御發着予定	伊勢	伊勢
十月一日	皇太子殿下行啓御日程豫定	午前六時 大本宮御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二日		午後六時 高松御上陸	午後七時 伊勢御發着
十月三日		午後七時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月四日		午後八時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月五日		午後九時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月六日		午後十時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月七日		午後十一時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月八日		午後十二時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月九日		午後一時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十日		午後二時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十一日		午後三時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十二日		午後四時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十三日		午後五時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十四日		午後六時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十五日		午後七時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十六日		午後八時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十七日		午後九時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十八日		午後十時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月十九日		午後十一時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十日		午後十二時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十一日		午後一時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十二日		午後二時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十三日		午後三時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十四日		午後四時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十五日		午後五時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十六日		午後六時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十七日		午後七時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十八日		午後八時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月二十九日		午後九時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着
十月三十日		午後十時 伊勢御發着	午後七時 伊勢御發着

0984

十月	二十日	二十日
<p>午前六時四十分 御所御出向 七時三十分 高松御出向 八時三十分 今治御出向 九時三十分 今治御出向 午後三十分 大洲御出向</p>	<p>午前七時 御所御出向 七時三十分 高松御出向 八時三十分 今治御出向 九時三十分 今治御出向 午後三十分 高松御出向 午後四十分 高松御出向</p>	<p>午前七時三十分 御所御出向 七時三十分 高松御出向 八時三十分 今治御出向 九時三十分 今治御出向 午後三十分 高松御出向</p>
<p>午前九時 高松出港 午後四時 三津浦入港</p>	<p>高松 泊</p>	<p>午前八時 高松出港 午後三時 高松入港</p>
<p>午前七時 高松出港 午後三時 今治出港 午後四時 三津浦入港</p>	<p>目下</p>	<p>高松 泊</p>
<p>午前七時 高松出港 午後三時 今治出港 午後四時 三津浦入港</p>	<p>午前七時 高松出港 午後三時 今治出港 午後四時 三津浦入港</p>	<p>午前八時 高松出港 午後三時 高松入港</p>

0986

<p>十月 二十日</p>	<p>十月 二十日</p>	<p>十月 二十日</p>	<p>十月 二十日</p>
<p>午前二時 宇和島御着 九時半 宇和島上陸 午後二時 宇和島松島御着 午後五時 宇和島松島御着 (伊勢御宿所)</p>	<p>午後二時 宇和島御着 午後三時 宇和島御着 午後四時 宇和島御着 午後五時 宇和島御着 (伊勢御宿所)</p>	<p>午前九時 御宿所御出門 午後九時 御宿所御出門 (伊勢御宿所)</p>	<p>午後二時 宇和島御着 午後三時 宇和島御着 午後四時 宇和島御着 午後五時 宇和島御着 (伊勢御宿所)</p>
<p>午前二時 宇和島入港 九時半 宇和島上陸 午後二時 宇和島松島御着 午後五時 宇和島松島御着 (伊勢御宿所)</p>	<p>午後二時 宇和島御着 午後三時 宇和島御着 午後四時 宇和島御着 午後五時 宇和島御着 (伊勢御宿所)</p>	<p>午後九時 御宿所御出門 午後九時 御宿所御出門 (伊勢御宿所)</p>	<p>午後二時 宇和島御着 午後三時 宇和島御着 午後四時 宇和島御着 午後五時 宇和島御着 (伊勢御宿所)</p>
<p>同 上</p>	<p>同 上</p>	<p>同 上</p>	<p>同 上</p>
<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p>午後二時 宇和島御着 午後三時 宇和島御着 午後四時 宇和島御着 午後五時 宇和島御着 (伊勢御宿所)</p>

0987

<p>廿四 前九時分 御前所御出陣 後九時分 阿波紀田所御着</p>	<p>廿五 前七時分 小松島御着禮 九時分 御上陸 小松島 十時分 同所御着 十一時分 徳島御前所御着 十二時分 御前所御出陣 午後三時分 還陣 午後四時 御前所御出陣 四時 早 還陣 (徳島市公倉 立御宿所)</p>	<p>廿六 前七時 御前所御出陣 南 御宿所 甲野 午後三時 御前所御着 四時 御前所御着 五時 須崎御着 (御宿所御宿所)</p>	<p>廿七 前七時 須崎御着禮 八時 須崎御着 御上陸 九時 須崎 佐川 午後三時 御前所御出陣 四時 御前所御出陣 四時 赤 還陣 (長壽山 山内豊景別邸御宿所)</p>
<p>小松島 立陣</p>	<p>前七時 御前所御着 九時 御前所御着 徳島 入 禮</p>	<p>午後四時 御前所御着 五時 須崎御出陣 (吉達 九時)</p>	<p>前七時 須崎 入 禮 八時 御前所御上陸</p>
<p>同</p>	<p>同</p>	<p>同</p>	<p>同</p>
<p>同</p>	<p>小松島 立陣</p>	<p>前七時 御前所御着 十時 御前所御着 小松島 御着</p>	<p>前九時 呉 出 禮 午後六時 御前所御着 四時 御前所御着</p>

<p>十日</p> <p>午前七時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後四時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後六時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後八時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後十時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後十二時 御所御出陣 和歌山</p>	<p>十日</p> <p>午前七時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後四時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後六時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後八時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後十時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後十二時 御所御出陣 和歌山</p>	<p>十日</p> <p>午前七時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後四時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後六時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後八時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後十時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後十二時 御所御出陣 和歌山</p>	<p>十日</p> <p>午前七時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後四時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後六時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後八時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後十時 御所御出陣 和歌山</p> <p>午後十二時 御所御出陣 和歌山</p>
<p>和歌山御所</p>	<p>和歌山御所</p>	<p>和歌山御所</p>	<p>和歌山御所</p>
<p>同日</p>	<p>同日</p>	<p>同日</p>	<p>同日</p>
<p>同日</p>	<p>同日</p>	<p>同日</p>	<p>同日</p>

<p>十日 午後 藤分 遂 啓</p>	<p>十日 午後 藤分 静岡御着車</p>
<p>十日 午前 藤分 御所御出陣 静岡御着車</p>	<p>十日 午前 藤分 御所御出陣 和歌山御着車</p>
<p>午後 一時 是 徳</p>	<p>午後 一時 和歌山 出陣</p>
<p>午後 一時 是 入 止</p>	<p>同 上</p>
<p>同 上</p>	<p>同 上</p>

0990

<p>海軍令部長親</p>	<p>廚 司 丁 丁</p>	<p>菓 手 丁 丁</p>	<p>東 手 人 人</p>	<p>侍 從 武 官 醫 藥 員 馬 山 侍 醫 藥 員 東 官 內 舍 人 有 東 官 內 舍 人 藥 劑 員 侍 從 武 官 府 海 軍 屬 判</p>
<p>海軍令部長親</p>	<p>廚 司 丁 丁</p>	<p>菓 手 丁 丁</p>	<p>東 手 人 人</p>	<p>侍 從 武 官 醫 藥 員 馬 山 侍 醫 藥 員 東 官 內 舍 人 有 東 官 內 舍 人 藥 劑 員 侍 從 武 官 府 海 軍 屬 判</p>
<p>海軍令部長親</p>	<p>廚 司 丁 丁</p>	<p>菓 手 丁 丁</p>	<p>東 手 人 人</p>	<p>侍 從 武 官 醫 藥 員 馬 山 侍 醫 藥 員 東 官 內 舍 人 有 東 官 內 舍 人 藥 劑 員 侍 從 武 官 府 海 軍 屬 判</p>

計		内閣				軍		陸	
備	産	親任	新任	奏任	判任	同待	過	備	産
五	九	一	一	一	一	一	一	一	一
備	産	親任	新任	奏任	判任	同待	過	備	産
五	八	一	一	一	一	一	一	一	一
備	産	親任	新任	奏任	判任	同待	過	備	産
四	〇	一	一	一	一	一	一	一	一

別表第一 供奉員名室割當表

室	參謀長公室	參謀長公室	參謀長公室	參謀長公室	參謀長公室	副官室	司令部庶務室	將官休總室	砲術長室	水雷長室
番	三	五	七	八	一〇	一二	一四	一六	一八	二〇
名	親勉任官公室	侍從次長	供奉諸官番室副	官内大臣公室	官内大臣公室	供奉諸官番室副	軍令部部長	東宮武官長	御殿所内舎人室	朝融王殿下
割當	同	東宮武官長	同	同	同	同	同	同	同	同
日	十一日	十五日	二十三日	二十三日	二十三日	二十三日	二十三日	二十三日	二十三日	二十三日
以後	以後	以後	以後	以後	以後	以後	以後	以後	以後	以後
室	東宮武官長	東宮武官長	東宮武官長	東宮武官長	東宮武官長	東宮武官長	東宮武官長	東宮武官長	東宮武官長	東宮武官長
職	侍從	侍從	侍從	侍從	侍從	侍從	侍從	侍從	侍從	侍從
用	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
裁	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

機部殿將監	維士官候室 六人新座	豫備室	豫備室	介隊長室	介隊長室	介隊長室	副隊長室	介隊長室	運用隊長室	介隊長室	通信隊長室	介隊長室	介隊長室	介隊長室	士官候室	士官候室	機部殿將監
		台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	
雇員及婦人等	判任官(凡色)						迎衛將校	内務書記官	東官武官(西)	御樂室	官内大臣御書官	侍	從武官	東官武官(西)	侍	從	判任官(凡色)
同	同	同	同	同	同	同	侍從武官(西)	陸軍幕僚佐官(西)	陸軍幕僚佐官(西)	陸軍幕僚佐官(西)	陸軍幕僚佐官(西)	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

0995

〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	艦長休憩室	室	本艦乗組士官臨時為室割當表
							令隊長室	航海長室		多	
代 谷 大 尉	通 信 長	副 砲 長	叢 妻 大 尉	箱 田 機 士 佐	連 用 長	砲 術 長	副 長	航 海 長	艦 長	十 三 日	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	十 五 日	
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上		
同	同	同	同	同	同	同	水 雷 長	同	同	二十三日以後	
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上		

0996

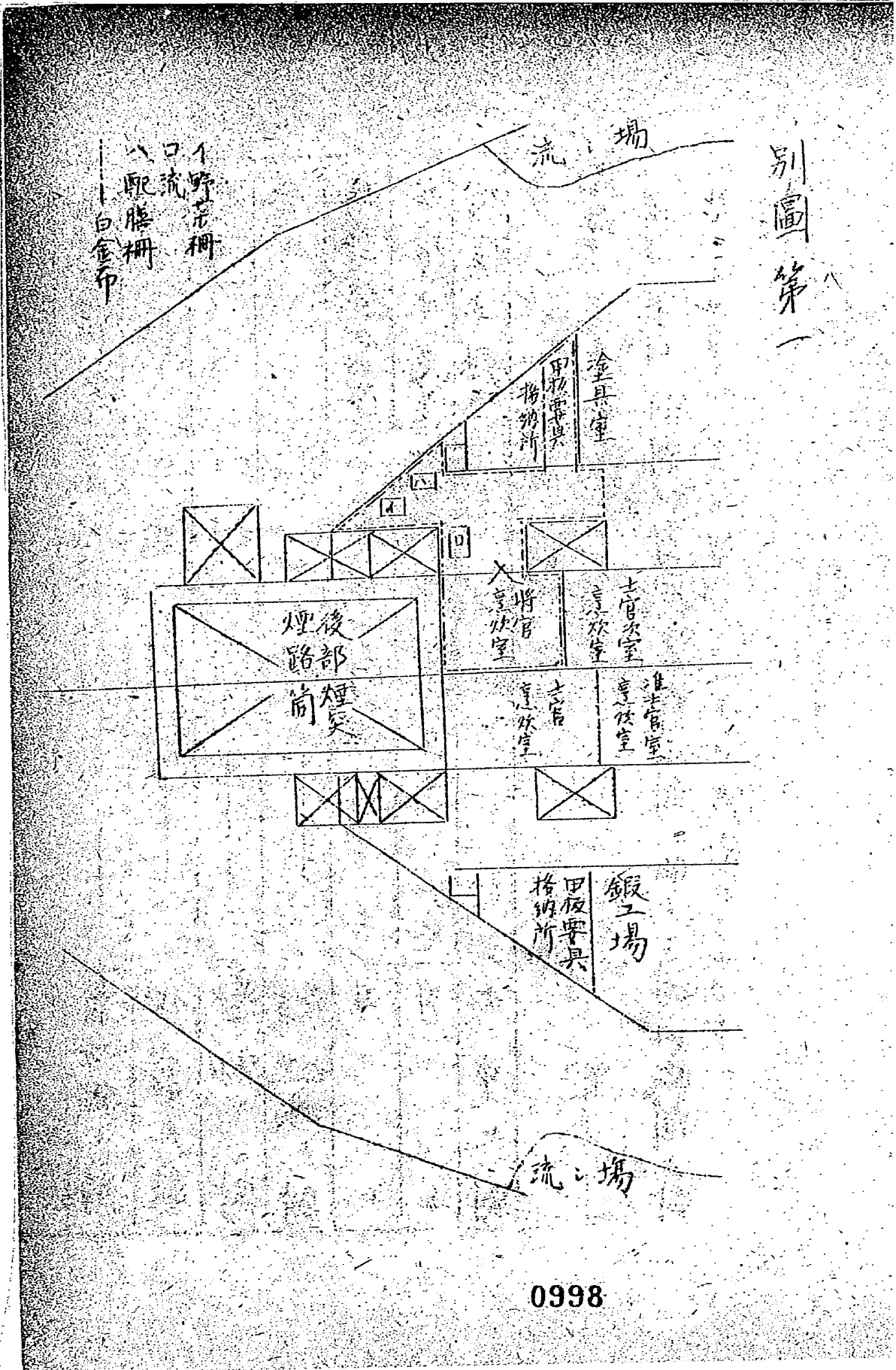
将官休想室	士官休想室	艦橋幕僚休想室	〓	〓	〓	〓
高橋中尉	松木中尉	栗田大尉	大井大尉	伊藤大尉	森澤大尉	
同	同					
土井大尉	同	栗田大尉	代大尉	伊藤大尉	森澤大尉	

備考

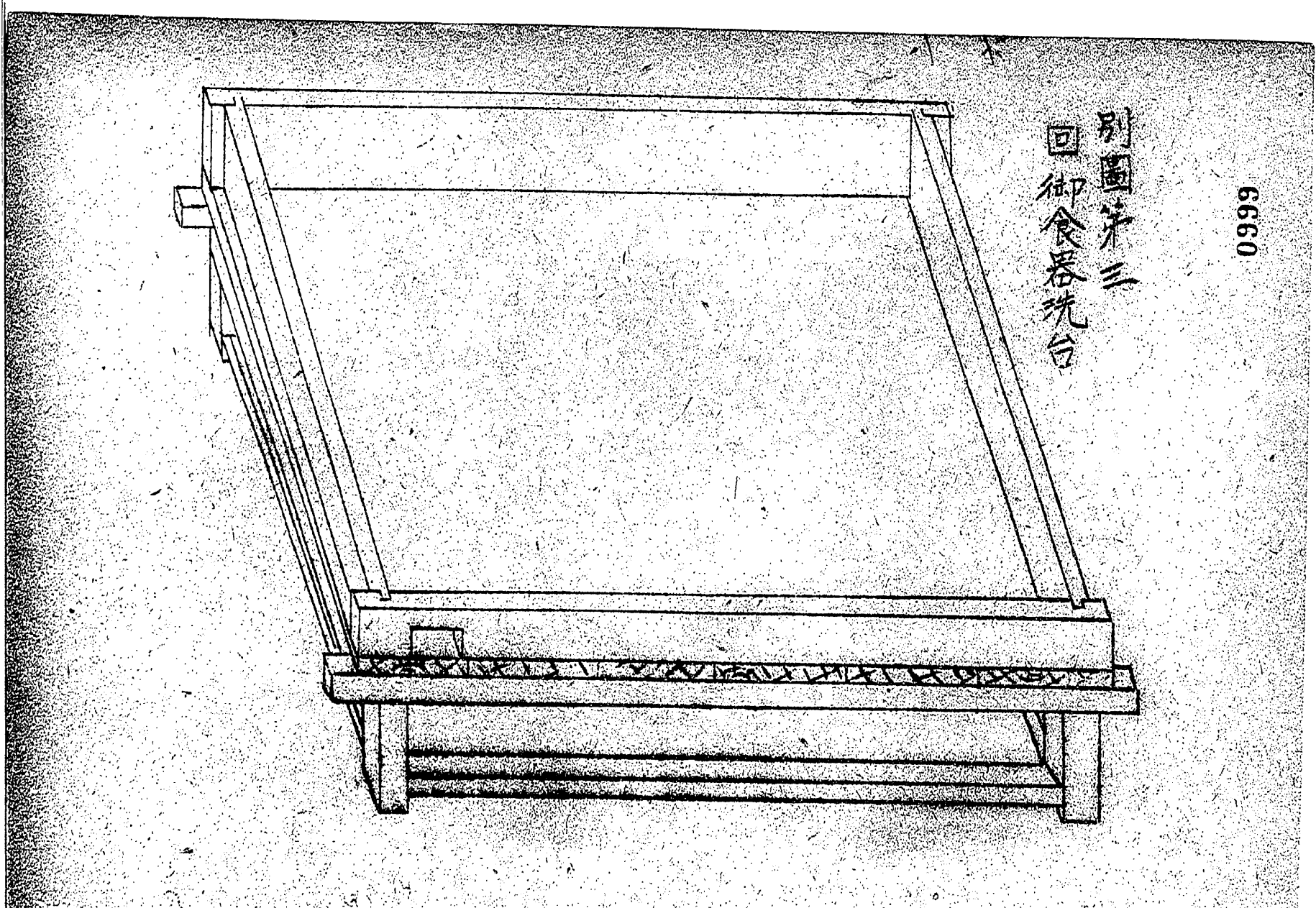
同時中尉特別任務中森澤機関大尉以下岡田機関大尉
 迄二十五日ヨリ士官室ヨリフアールヨ寝所トスルコト

0997

別圖第一



0998

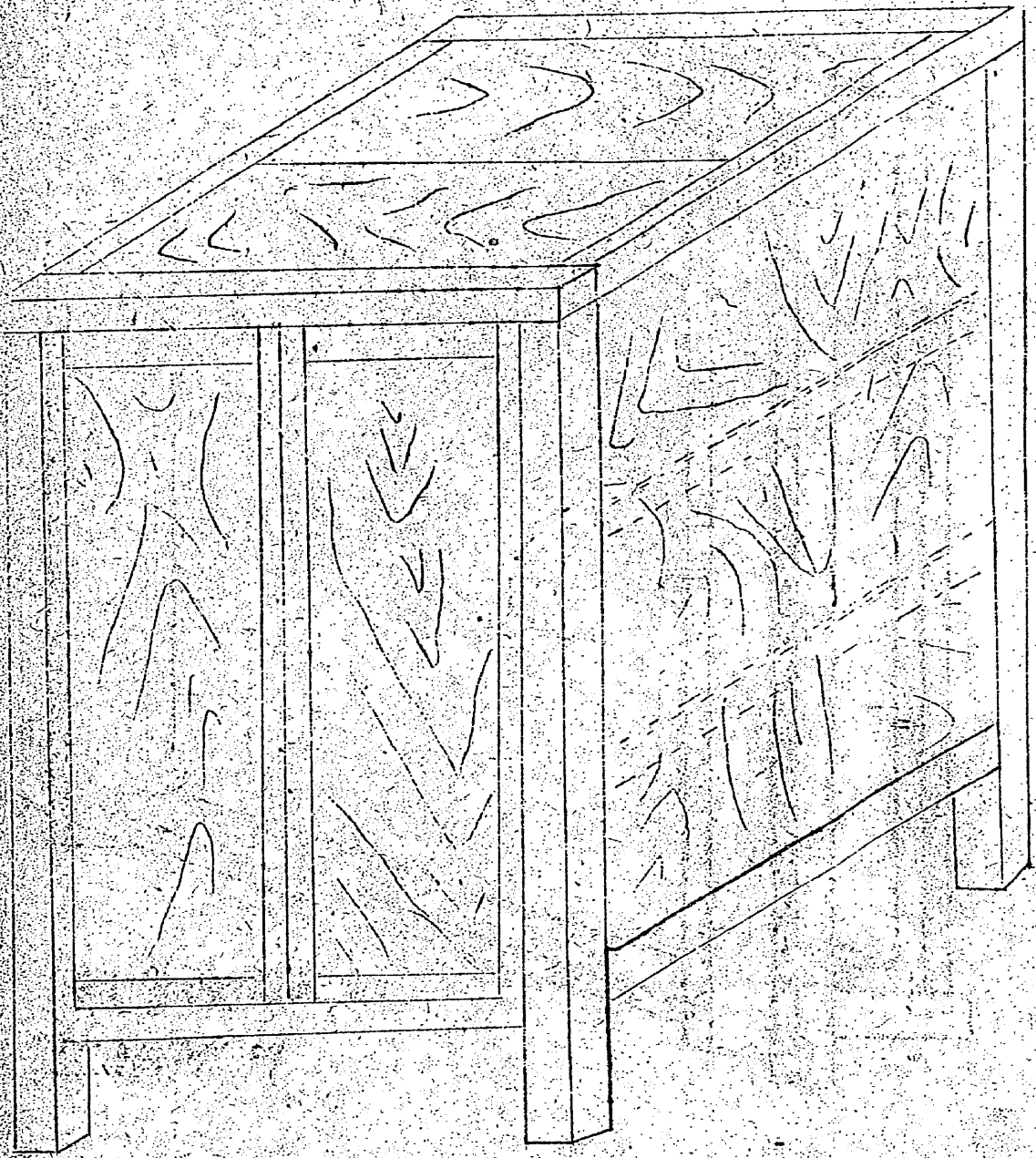


別圖第三
回御食器洗台

0990

八

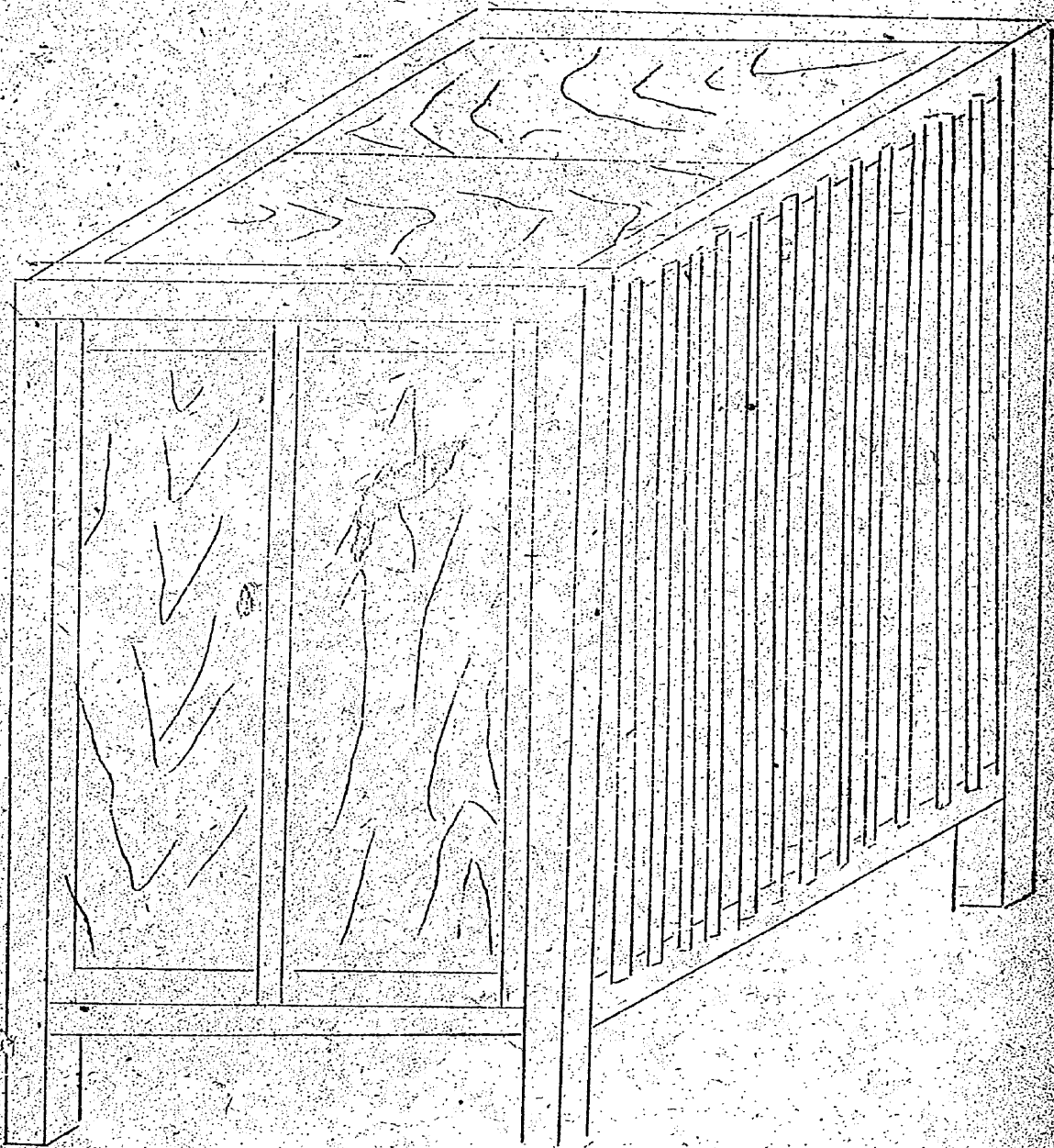
別 欄 月 曆 配



1000

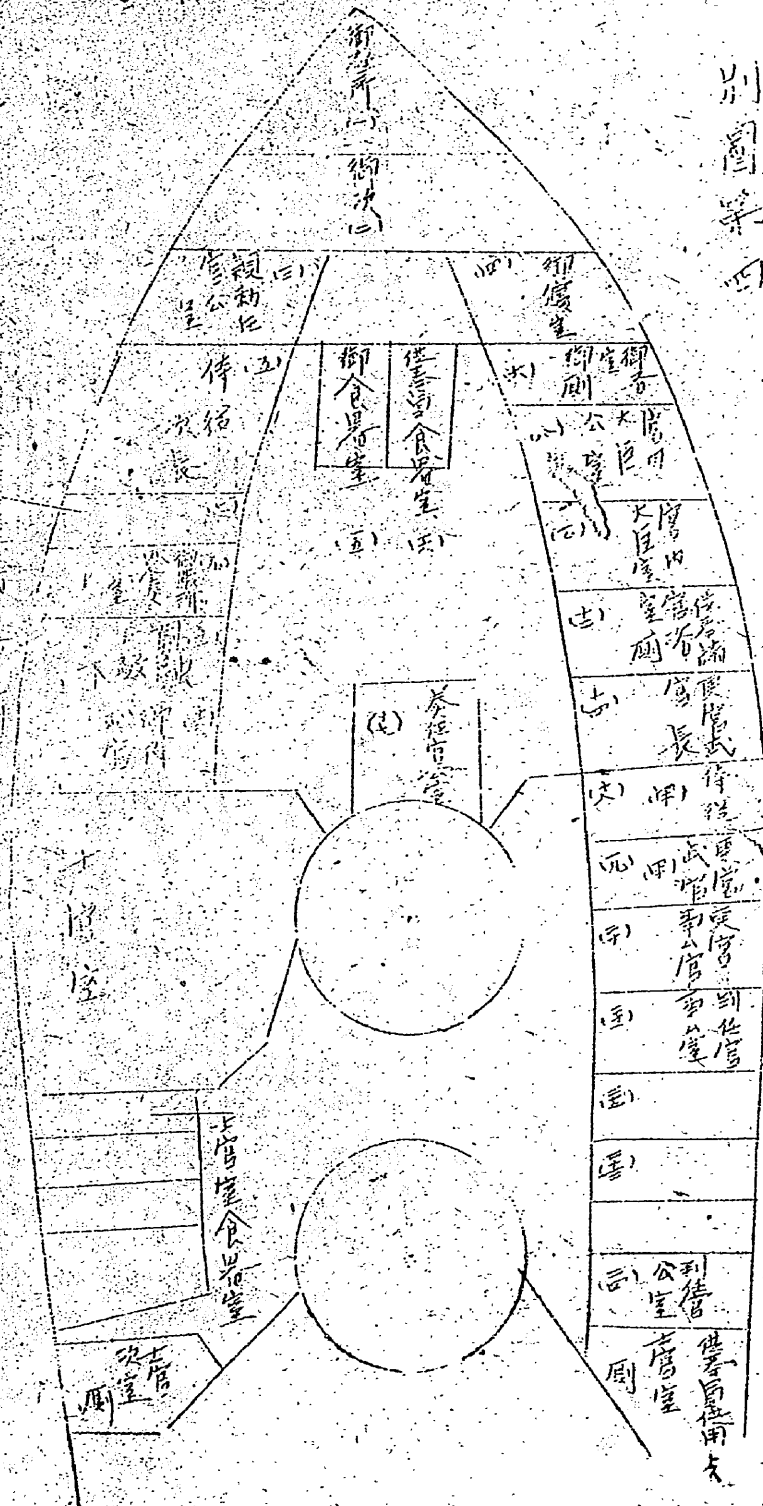
野菜類拾納棚

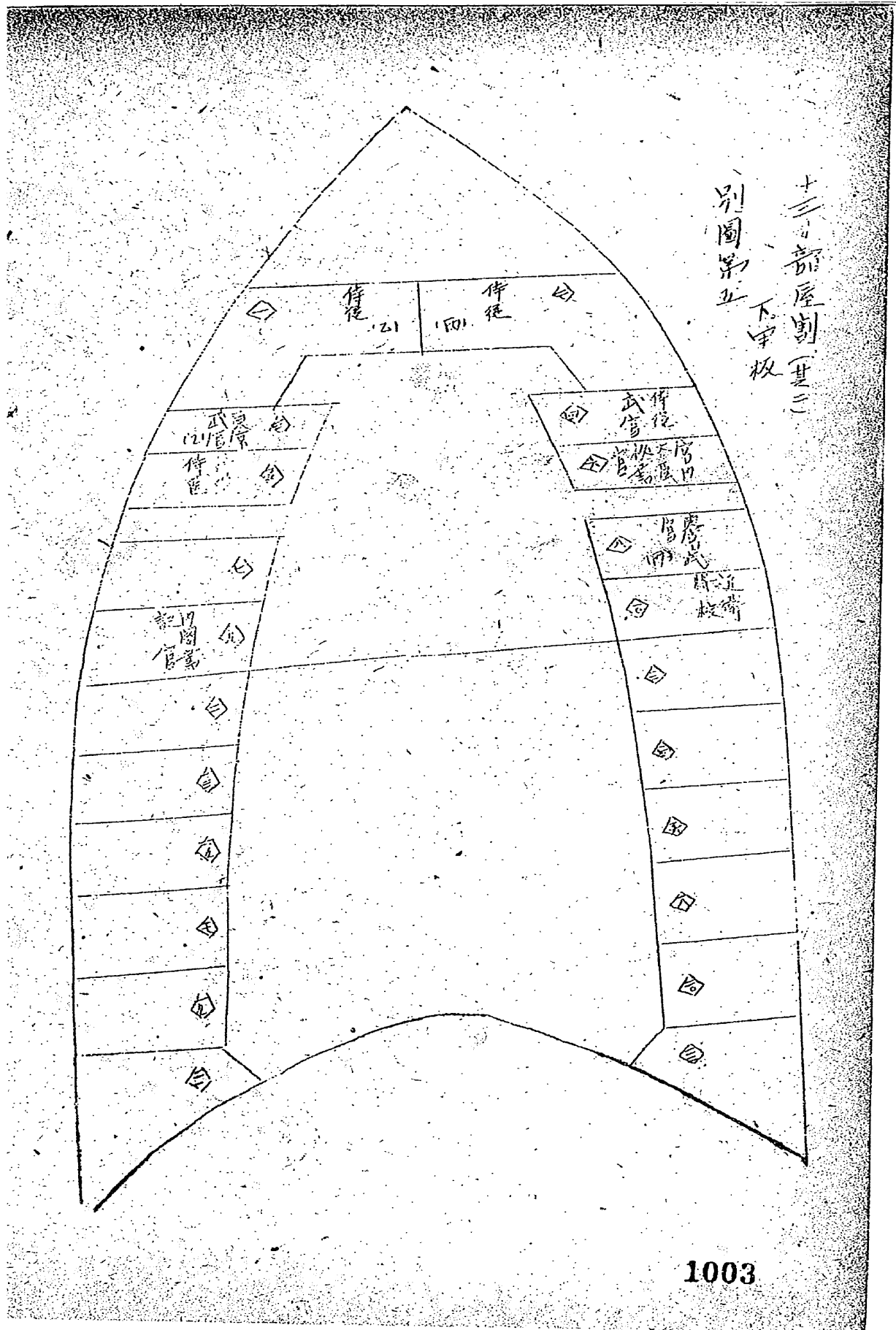
4



1001

十日宮室圖(其一)

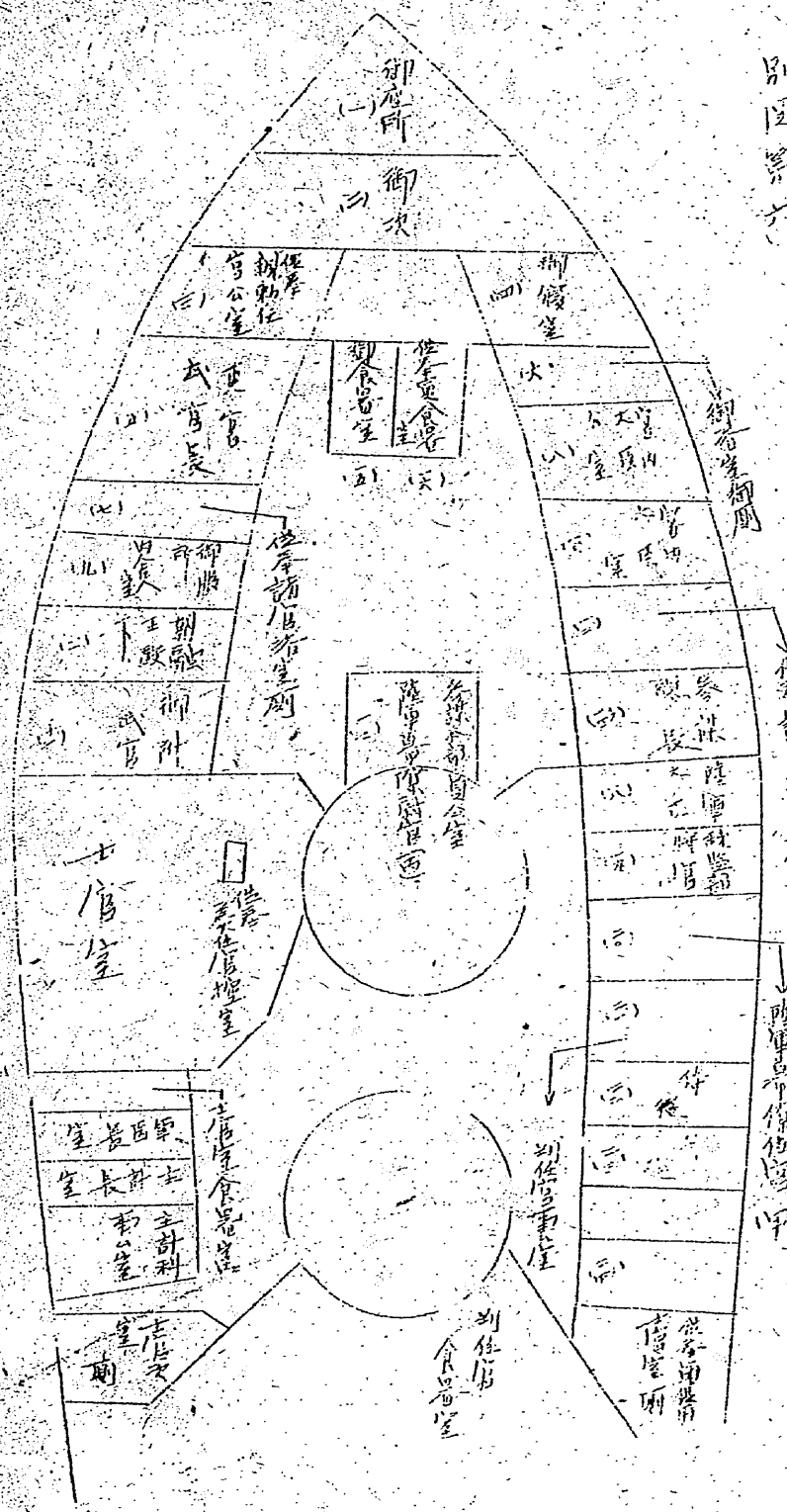




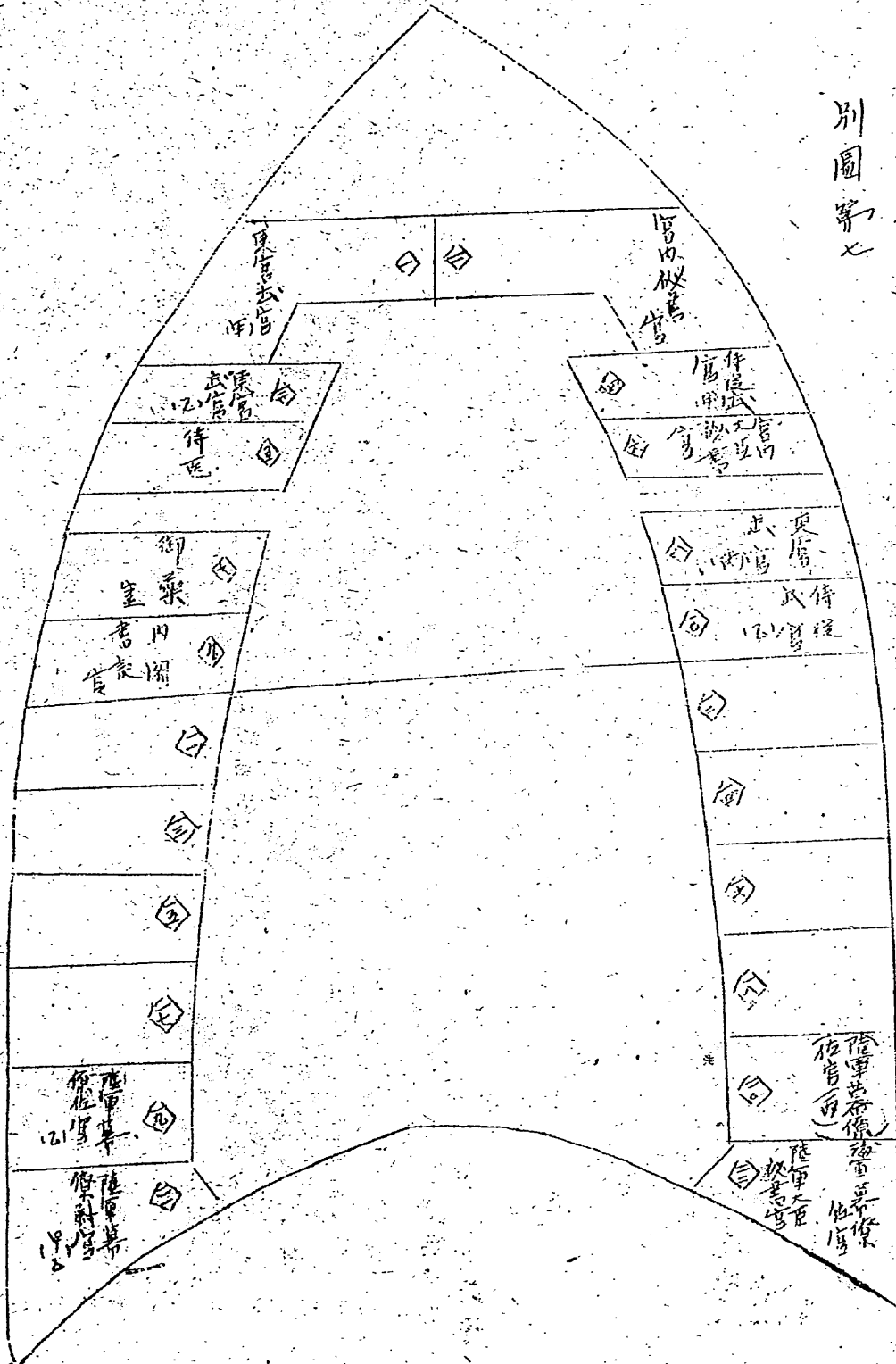
十三部屋割(其二)
別圖第五 下甲板

1003

十五日新屋敷
別圖第六

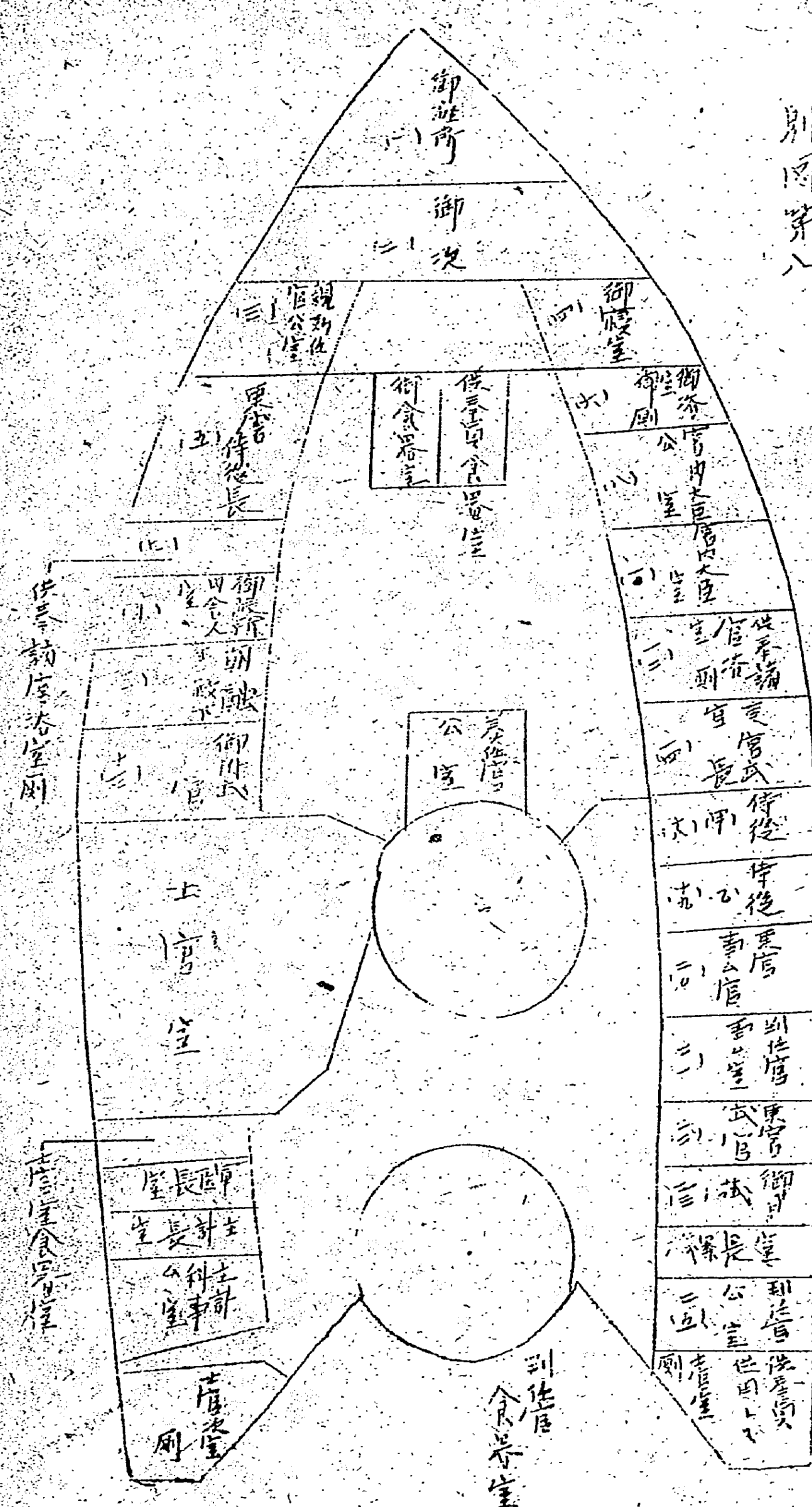


十五廿部屋敷
別圖第七



1005

二十三日以後部屋割其一
別圖第八



三三以後部屋割其二
別圖第九 下甲校

